

神奈川県作業療法士会ニュース172号 目次

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 巻頭言 | 8 第15回神奈川県作業療法学会のご案内 |
| 2 認知症の作業療法 後編 | 8 編集後記 |
| 4 各部委員会報告 | |
| 6 研修会報告 | |
| 6 求人案内 | |

巻頭言

2025年に向けて、役員選挙を行います！ ～今年の5月31日(日)は総会開催予定日～

一般社団法人 神奈川県作業療法士会
事務局長 澤口 勇



2025年まであと10年となりました。10年という数字、たぶん、もう、あっという間かもしれません。途中、2020年には東京オリンピック・パラリンピックもあります。そこではおそらく、障害者スポーツを通じて、障害者や生活弱者に関心が寄せられると思います。そして、2025年、団魂の世代が75歳を迎え「後期高齢者」が2179万人（国民約5人に1人が75歳以上）まで膨らむ超高齢者社会となります。日本の人口の高齢化率は30%を超え、毎年の死亡者は150万人台に達すると推計されています。会員の皆さんが今お勤めの職場はおそらく、20代～30代の方が大半を占めていると思いますのでまだその実感は正直持てないかもしれません。がしかし、職場の外である地域社会においては、刻々とその時を迎えつつあるのです。以下に一例をご紹介します。

第一に平成27年、国は住民運営の集い等（公民館等で行われている健康体操等）にリハビリテーション専門職等が定期的に関与することで介護予防の機能強化を狙った「地域リハビリテーション活動支援事業」を開始します。実地主体は各市町村です。

第二に神奈川県内の二次医療圏域で平成47年の高齢化率（H19：神奈川県地域化体制整備構想）で

もっとも高齢化が進む地域は県西地域（35.9%）と推測されています。続いて、横須賀三浦地域（34.7%）、湘南西部地域（32.9%）、県央地域（32.7%）と続きます。これからの介護予防にはこれら地域において、作業療法の底力が必要です。

（一社）神奈川県作業療法士会はこれまで、平成21年度に一般社団法人化を行い、以降、臨時総会を経て定款と役員選挙規約等の改定を行い、平成26年度からは代議員制の導入を行いました。それでもなお、迅速に変化していく地域社会に、我々作業療法士は対応しかつ貢献していかなければなりません。地域包括ケアシステムでは、概ね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域（一例：具体的には中学校区）を単位として想定されています。汲まなく県内全域に作業療法のサービスが提供できるよう、会員各位の活躍をバックアップできるよう県士会組織もより幅広くニーズに対応できるようにしなくてはなりません。5月31日(日)には代議員制導入後、初めての役員選挙が総会にて行われます。詳細は選挙管理委員会より告示がありますが、一人一人の作業療法士がOTの広告塔であることを肝に銘じて頂き、市民の健康（リカバリー）に一躍できるように共に頑張りましょう！

シリーズ「認知症の作業療法」 ベテランOTへのインタビュー 認知症の作業療法 後編

JICA日系社会シニア・ボランティア

作業療法士・ケアマネジャー

浅海 奈津美 先生

ー浅海先生は以前、生活保護を受ける一人暮らしの高齢者が多いとされる山谷地区（俗に言うドヤ街）で、ケアマネジャーとしてお仕事をされていました。OTではなく、ケアマネジャーとしてその地域に関わったのは何故でしょうか？

○隠れOT

もちろん、OTが嫌になったからケアマネジャーになったものではありません。勤めることになった支援団体にはOTのポジションがなかったので、ケアマネジャーとして働くことにしたのです。勤めた地域には独居の高齢者が多く（高齢化率が60%の地区も！）、都市の高齢社会の未来を先取りしているように見え、飛び込んでみたかったという経緯があります。また、介護保険分野ではケアマネジャーが鍵となると考え、OTの視点をもつケアマネジャーが果たして現場で有効かという、チャレンジの意図もありました。4年間働いて、自分のケアプランの中身にはOTの要素が満載でした。いつでも、言わば「隠れOT」としてケアマネジャーの仕事をしていたと、自分では認識しています。

ー地域で働くケアマネジャーとして、認知症のある方との関わりはありましたか？また、印象深いケースについて教えてください。



浅海奈津美 先生

profile

OT養成校卒業後、都内の病院、特別養護老人ホーム等で作業療法士として勤務。2000年より、神奈川県内の私立大学で教鞭を執り、老年期および地域作業療法に関する教育・研究活動に携わる一方で、当会の理事としても活躍。その後は山谷地区（俗に言うドヤ街）で生活する高齢者に対してケアマネジャーとしての支援を行う。

現在は、JICA日系社会シニア・ボランティアの一員として、南米パラグアイに赴任中。移住第一世代の高齢化が進む日系人コミュニティにおいて、アドバイザー的立場としての活動を展開している。

著書である「老年期の作業療法」（守口恭子 健康科学大学教授との共著 三輪書店）は、老年期作業療法の専門的視点と温もりの溢れた人間の視点の双方を併せ持つ良書として、作業療法学生のバイブルとなっている。

そのような地域で、かつ貧困層の支援団体が事業所の母体でしたから、基本的に、担当する方の多くは、生活保護を受けている身寄りのない一人暮らしの方でした。あまり重度の認知症になると一人で暮らすのは困難ですから、一人暮らしがどうか続けられる程度の、軽度から中等度の方にお会いすることが多かったです。

中でも印象深い方は、ある90代女性の方です。長年、美容師さんとして働き、自分でお金を貯めて建てたビルの5階で一人暮らしを続けていました。もうお客さんは来ていなかったようですが、ビルの2階にはその方の経営する美容室もありました。日中お店に降りてくるときは、きちんと「仕事をする」という出で立ちでいらしたのが、とても印象的でした。とてもお話し好きな方で、私にも打ち解けてくれて、お宅に伺うと、いつも繰り返し子どもの頃の苦労話をしてくれました。

物忘れこそあるものの、エレベーター無しの5階で暮らせるくらい身体機能には問題がなく、失禁等もなく、保清もある程度は保たれていましたので、どうにか一人暮らしができていた状況ではありました。しかしながら、家の中や冷蔵庫は、沢山のモノで溢れかえていました。1日に何度も近所のコンビニに行き、その度に何らかの買い物をして帰ってくるのです。みるみるうちに、2階や5階の部屋の中が読まない雑誌や賞味期限切れの”ゴミ”で一杯になってしまうのです。おそらく、モノを買うだけでなく、お店の方とやりとりすることも楽しみだったのでしょう。店でものを買うというのが、その方にとっては社会との接点でした。しかしこのような環境ですから、通帳がどこかにいったとか、金庫の鍵が消えたとか、色々と問題もありました。

○その方の居場所

ケアマネジャーとして将来的なことも考慮し、グループホームへの入所という選択肢も視野にいれました。もちろん認知症デイケアも一緒に見学しました。しかしご本人からは、ホームに入るのは嫌だ、店を空けるわけにはいかない、という明確な意志表示があり、私自身も、確かにホームの暮らしでは、彼女らしさが発揮できる場面は失われる気がしました。文字通り自分で築き長年暮らした自分の城で、お店に立つ姿こそが、一番その方らしい、それをできるだけ続けていけるよう支援したいと思いました。

モノを買って来ないように、と説得するのは到底無理です。幸いなことに家賃収入があり、日常の買い物のお金には困っていませんでしたから、買うこと自体が大きな問題にはなりません。店の人に「売るな」とお願いすることもできたかもしれませんが、それでは彼女と社会を断ち切ることになってしまいます。そこで、生活が破綻しない程度に部屋を片づけ古い食品を捨てられるよう、ヘルパーさんに、週1回掃除に入ってもらうことにしました。実際には、ご本人はゴミを捨てることを極端に嫌がる（ご本人にとっては、せっかく買ってきたものや好物なのですから）ので、結局捨てさせてもらえないまま帰ってくるヘルパーさんもありましたが、徐々に生活環境は整えられていきました。

○地域ぐるみで支える

また、近所の診療所にご自身が定期的に出かけて行って、受診し薬をもらってくることも続けられるよう苦心しました。徒歩でいける距離にある馴染みの診療所なので、行き帰りの問題はないのですが、曜日の感覚がなかったり診察券がどっかにいってしまったり、もちろんご自身での体調の報告は難しく、処方薬の管理も含めて、診療所や薬局、ヘルパーさんと連携し、地域ぐるみでなんとか支援する体制を作りました。服薬は過剰摂取の危険を避けることに苦慮した覚えがあります。

お住まいを建設した工務店がすぐ裏にあり、その店長も、ご本人の様子を見て声を掛けてくれたり連絡してくれたり、よく面倒を見てくれました。下町ながらの人付き合いが幸いしました。認知症のある方が地域で暮らし続けるためには、地域ぐるみの支えがあってこそだと実感しました。

ー現在は南米パラグアイの日系人コミュニティで、高齢化問題に関するアドバイザー的立場でお仕事をされているそうですね。

○日系人コミュニティに迫る高齢化

パラグアイ社会全体の高齢化率は低く、子どもの多いピラミッド型の社会構造です。高齢者の専門施設もエキスパートも少ないのが実情です（余談ですが、数名の外国ライセンスのOTが力を合わせて教育しているパラグアイ国産OT一期生が来春社会に出ます）。

一方約6000人の移住者が暮らす日系人コミュニティでは、移住第一世代の高齢化が進んでいます。日系社会の高齢者福祉に関わるJICAシニアボランティアは私で10代目、約20年間支援が続けられています（青年ボランティアも活躍しています）。募集職種はソーシャルワーカーという枠ですが、相談業務が特に求められているわけではありません。私はたまたまOTですが、過去にはこの枠で介護職、保健師、社会福祉事業団職員など、様々なキャリアの人が関わってきました。

最初は日系社会の中でも「高齢者福祉って何？」というところからのスタートだったと聞いていますが、時の経過とともに徐々に切実な問題になってきました。全員が大家族に囲まれているわけではなく、諸事情で単身独居の方もいらっしゃいます。前述したように、パラグアイに老人ホームが無いわけではないのですが、一番の問題は食事です。弱ったときほど日本食を食べたいものですね。でも国内の通常の老人施設ではそうはいきません。ブラジルのように移民の数が多いところだと、日系人対象老人ホームも運営できるのですが、パラグアイの日系社会はまだそこまでの力はありません。しかし、日系社会の高齢者福祉推進委員会の会長は脳卒中当事者、とある移住地の日本人会の会長は、認知症を抱えた親御さんの介護体験者です。現在では多くの方々がご自身にも関わる問題として高齢者福祉に関心を寄せ、各地で福祉ボランティア活動が熱心に営まれています。皆さん、NHKの国際TV放送の高齢者関連の番組を観て、驚くほどよく勉強しておられます。認知症への関心はやはり高く、予防法について

よく話題になります。

○お年寄りがいて「当たり前」

パラグアイは日系社会も含め、おしなべて大家族ですから、赤ちゃんからおじいちゃんおばあちゃんまで、皆が生活を共にしています。ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんがいる家庭も少なくありません。赤ちゃんもお年寄りもいて当たり前の暮らしです。従って、人の生老病死を体験的に知っています。おそらく昔の日本もそうだったのでしょうね。

ー日本が失ってしまった良さが、パラグアイには残っているんですね。

国としては、さまざまな問題、課題を抱えた社会ですが、確かに良さもあります。日本社会のように分刻みで働くということは要求されませんし、家の狭さの問題で親と同居できないという問題も、日本の都市部のように深刻ではありません。家族を何よりも大切に、そのにぎわいの中で、介護したりされたりしています。

○今後の課題

そうはいても、寝たきりで褥瘡を作ってしまった、お嫁さんが1人で介護負担を背負っていたり、福祉用具が高額だったり、相談したくても専門職がいないという現実的な課題も多くあります。

JICAの青年およびシニアボランティアが協働して、日系社会を対象に定期的に介護技術の研修を実施しているのですが、参加された皆さんは「こういった事をもっと早くに知っていたら、もっと良く対処できたのに」と話しています。

ー最後に、認知症に関わる県士会の若手OTへ、メッセージをお願いします。

高齢者の話す言葉を、ゆっくりと聞く時間を持つのはいかがでしょうか。それはもちろん、OT評価のためでもあるのですが、志向性が強すぎるとその高齢者にとって大事なことを聞きこぼしてしまうので、そこは注意が必要です。伝えたいことをうまく言葉とて言えない方でも、その方のペースにこちらが合わせて、話があっちにいたりこっちにいたり、まとまらなかったり崩壊しかけたりするのに、表情やしぐさも読み取りながら必死についていっているうちに（聞き手側の想像力の勝負でもあります）、どこかでその方の人生の水脈に当たります。そうすると、その方の人生が何によって形作られてきたのかが鮮やかに伝わってくる瞬間が訪れます。皆さんも、そういった経験をしてみてはいかがでしょう。きっとOTの糸口が見えてくるはずですよ。

ー貴重なお話をありがとうございました。

（文責：地域リハビリテーション部 吉田 河村）

各部からの報告

ウェブサイト管理委員会

○モバイル表示は好きですか？

よこ太：大発見！！

ハマ子：またセラピーパテがない！どこにやった？

よこ太：それよりその発見は・・・何か気に入らない？

ハマ子：八件でも九件でもいいわよ。で、何？

よこ太：うっ...まさかの2号連続ハマ子ボケッ...しかもつまらない...

ハマ子（赤面）：（'・ω・'）

よこ太（蒼白）：ごごっごめん。えーと、県士会サイトの講習会情報をスマホで見た時って、PCで見るページとは異なって、講習会ごとに表示されるでしょ。

ハマ子：そうね、他にも求人情報とか、いくつかのコンテンツでモバイル版の表示に切り替わるわね。

よこ太：それでね、スマホでもPC版の表示に切り替えることができるんだよ！！大発見！！いえーい！

ハマ子：うん、知ってるよ。一番下にでしょ。自分の好

みでPC版・モバイル版にするか、表示が切り替えられるから便利ね。画面が大きい端末だと、PC版の方がやっぱり見やすいかな。それに、PC版だと終わった講習会は一覧のリストからは消えているしね。

よこ太：あっ...知ってたんだ...しかも詳しいし。

ハマ子：モバイル版の表示に違和感がある方は、ページの一番下でPC版に切り替えられます。ぜひお試しください↓↓↓

（文責：ウェブサイト管理委員会）

平成27年1月 アクセスランキング

- 1位 作業療法Tips & PDF 26623件
- 2位 講習会・研修会 20253件
- 3位 必見！OTのすご技・アイデア集 17664件
- 4位 求人情報掲載板 12788件
- 5位 月刊よっしーワールド 6734件

更新件数：71件 訪問者延べ数：22966人

Kanaからの手紙発行回数：26回 登録者：183名

Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー269名

福利部

○職場見学会 精神障害分野編

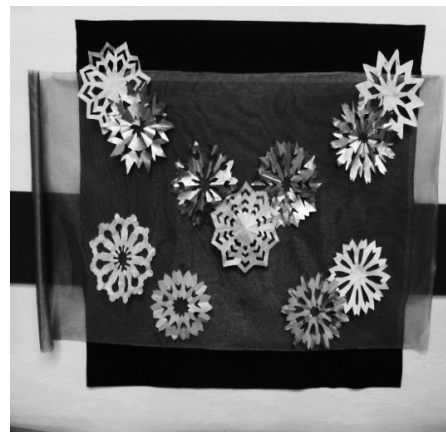
2月6日に第5回職場見学会として積善会曽我病院の認知症治療病棟に行ってきました。

当日は5名の参加があり、認知症に対する作業療法場面を実際に見学させて頂き、その後佐藤良枝先生より評価の重要性・視点についての講義やADL維持・改善、能力と特性の発揮、生活障害とBPSDの改善提案についての事例紹介を詳しく頂きました。

質疑応答では、見学した作業療法場面や講義の内容についてのみでなく、各セラピストが日々悩んでいる事に対して佐藤先生に具体的にお答えいただきながら、意見交換をし、活気あふれる時間となりました。OTとして認知症がある方に寄与できることは困難の改善や対応の工夫を知識と技術で具体化・現実化することでその人に寄り添うことであると改めて感じ、考えることのできるきっかけとなりました。

今回は、7月頃身体障害領域の病院にて見学会を予定していますので乞うご期待！

文責：生田病院 佐藤



教育部

連載!

県士会ウェブサイトから質問ができます!

「お届け!生涯教育制度、あれもこれも」

年度末、間もなく新年度ですね。移動もあったりしてあれこれです。そのスタートの前に皆さんの生涯教育制度の進捗を改めて確認して、来年度の目標を立ててみませんか。また再開するのは勇気がいりますが、そういう人が増えています。

以下いくつか考えられることを書きますので、ぜひ生涯教育手帳をご確認ください。

1. そう言われても自分の現状がわからない。どうすればいい?!

→心配御無用。教育部までご連絡ください。次に行うことを一緒に検討しましょう。

2. 貼っていないシールがある。

→すぐに貼って月日や内容をご記入下さい。

3. 研修会の参加証明書や県士会役員や部員、事業の当日運営委員等の委嘱状がある。

→県士会事務局へポイント手続きする(参加証明書、委嘱状、手帳、OT協会会員証コピー、切手貼付・宛名明記の返信用封筒を県士会へ送付してください。

4. 基礎研修がまだ終わらない。

→まずは現職者共通、選択研修の修了、50ポイント取得して手続きへ。

5. 基礎研修は修了しているが、この先が・・・。

→基礎研修修了期間内に認定作業療法士取得を目指しましょう。ちなみに申請には50ポイントは不要です。

→認定作業療法士の申請に至らなくても、5年以内に50ポイントたまったら基礎研修修了の更新をOT協会に申請して下さい。

6. 認定作業療法士にはなったが、更新期限が過ぎてしまい「もういいや!」とも思っているが、どうしたらいいか

→期間延長や再認定試験を受験する等いくつか方法があります。以下にお問い合わせください。

7. そんなこと言っても、全然わからないんだけど・・・。

→いつでも以下にお問い合わせください。また県士会ウェブサイトの生涯教育制度コーナーからも質問できます。

8. あと、新人OTたちに協会と県士会の紹介と入会を勧めてください。そして生涯教育制度を利用した自己研鑽を促してください。

<問合せ先>教育部 奥原孝幸

昭和大学保健医療学部作業療学科

kyoiku@kana-ot.jp, 045-985-6588 (直)

地域リハビリテーション部

《研修会開催予定》

今年度の研修会は予定通り終了いたしました。

※訪問リハビリテーションに関する研修会等はH26年度から全て神奈川県訪問リハビリテーション協議会の企画・運営に移行いたしました。

《生活行為向上マネジメントの普及活動について》

「生活行為向上マネジメント」を普及するため、各施設・事業所にて説明会を実施いたします。ご希望される場合は詳細をお知らせいたしますので、必要事項を記入のうえ、下記宛にEmailにてご連絡ください。

宛先: chikireha@kana-ot.jp

地域リハビリテーション部 木村宛

件名: 「生活行為向上マネジメント説明会希望」

内容: 1) 所属施設名

- 2) 所属施設住所
- 3) OT部門代表者
- 4) 窓口担当者
- 5) 連絡先TEL
- 6) 連絡先Email
- 7) 所属OTの人数
- 8) 希望日時(複数指定)

《地域ケア会議に出席された会員の方へ》

地域包括ケアシステム構築に向けて各市町村の動きが徐々に始まっております。その一つに地域ケア会議がありますが、既に地域ケア会議に出席経験のある会員がいらっしゃいましたら、地域リハビリテーション部(chikireha@kana-ot.jp)にご連絡をいただくと幸甚に存じます。これは情報収集を目的としたもので、今後の県士会活動に反映したいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

(文責: 地域リハビリテーション部 木村)

研 修 会 案 内

第38回作業療法研修会 『発達障害を持つ人々への支援』

主催: NPO法人 POTA 精神科作業療法協会

日時: 平成27年3月21日(土) 9:30~16:30

場所: 文京学院大学 本郷キャンパスB館8階

URL: <http://www.npota.com/>

第24回パーソン・センタード作業療法研究会「認知症初期集中支援チームについて」

主催: NPOその人を中心とした認知症ケアを考える会(パーソン・センタード・ケアを考える会)

日時: 2015年3月22日(日) 13:30~16:30

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

URL: <http://pcc.umin.jp>

運動器系体表解剖セレクションセミナー in 新潟

主催: 一般社団法人人体解剖学研究会

日時: 平成27年4月25日(土) 14:00~19:00、

26日(日) 9:00~16:00

場所: 新潟医療福祉大学

URL: <http://surface-anat.com/guide01.html>

第27回日本ハンドセラピー学会学術集会

主催: 日本ハンドセラピー学会

日時: 2015年4月18日(土)、19日(日)

場所: 日本教育会館

【交通アクセス】都営三田線「神保町」より徒歩5分程度

URL: <http://meeting27.jhts-web.org/>

研修会報告

「初心者のための実習指導 ～臨床教育指導方法からレポート指導方法の基礎～」

昨年、好評となりました実習指導養成講座。今年は初心者に向けた実習指導について3名の講師をお招きし、平成26年12月27日に上大岡ウイリングで開催しました。教育方法論と臨床現場の指導についてはイムス板橋リハビリテーション病院の澤田先生、レポート指導方法などについては神奈川保健福祉大学の友利先生、クリニカルクラークシップについては茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の神保先生にご講義いただきました。講師陣より、よく陥り易い具体例の提示があり、「作業療法」の特性や「実習」の目的等に焦点をあて、学生と指導者が互いに円滑に実習を進める為の具体的な内容が紹介されました。

実習生を指導する際、どの病院・施設等でも何かと悩みが尽きないと思います。今回は90名参加と大きな反響がありました。澤田先生の実習指導方法や実習場面の具体的な提示は実践的で参考になることが多かったのではないのでしょうか？友利先生は、作業療法は学問や関連職種の中でもより複雑であり、数値として表しにくく、心理的な側面をもつ存在であること、その複雑な内容を扱うからこそ「学生と一緒に考える」作業が大切と話されていました。また、レポート弊害を回避し、学生が臨床経験を少しでも多く積めるよう、レポートの最低限のチェック項目もわかりやすく提示されていました。クリニカルクラークシップという体験重視型指導方法では、従来の指導方法との差異が明示され、自らの指導方法を顧みる機会となるとともに、学生の主体性を育むにはどのように関わっていったらいいのか考えさせられる内容でした。今回の研修会で学ばれた事柄が実習指導のあらたな糸口となると幸いです。

文責：学術部 重田

求人

作業療法士（訪問リハビリ）募集

＜ノルマなし！ 件数に追われることなく、利用者様としっかり向き合える訪問リハです＞

仕事内容：訪問リハビリ業務

募集人員：作業療法士2名（正職員）

勤務地：次の2拠点から選択

① けいすい訪問看護ステーション
ふるさと

（神奈川県横浜市金沢区柴町391-10）

② けいすい訪問看護ステーション

逗子（神奈川県逗子市逗子4-1-22）

待遇：当法人規定により優遇（経験年数加算あり、昇給年1回、賞与年2回）

福利厚生：社保完備、交通費全額支給、退職金（勤続3年以上）、職員旅行、研修補助等

勤務時間：8：30～17：30（休憩1時間）

休日休暇：土曜、日曜、祝日（年間休日120日）、有給休暇（初年度13日）、夏季休暇、年末年始休暇、その他特別休暇

応募方法：まずはお気軽にご連絡ください

医療法人社団景翠会（金沢病院グループ）

TEL 045-780-5210（担当：人事課・鈴木）

E-Mail saiyou_hospital@keisukai.jp

URL <http://www.keisukai.or.jp/>

求人

作業療法士 募集！

リハビリに力を入れている、地域密着型病院です。急性期から回復期まで幅広い疾患を経験できます。

募集人員：作業療法士2名（正職員）

施設概要：179床（うち回復期リハビリ病棟45床）、内科、整形外科、外科、眼科、糖尿病センター、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科

待遇：当法人規定により優遇（経験年数加算あり、昇給年1回、賞与年2回）

福利厚生：社保完備、交通費全額支給、退職金（勤続3年以上）、職員旅行、研修補助、職員食堂、制服貸与等

勤務時間：8：30～17：30（休憩1時間）

休日休暇：日曜+1日休シフト、祝日（年間休日120日）、有給休暇（初年度13日）、夏季休暇、年末年始休暇ほか

応募方法：まずはお気軽にご連絡ください

医療法人社団景翠会 金沢病院

TEL 045-780-5210（担当：人事課・鈴木）

〒236-0021 横浜年金沢区泥亀2-8-3

京急線金沢文庫駅または金沢八景駅より徒歩10分

E-Mail saiyou_hospital@keisukai.jp

URL <http://www.keisukai.or.jp/>



求人

作業療法士募集

当社は地域に密着した介護事業所です。利用者様は42歳から101歳と幅広く、病症例も多様です。

他職種の職員たちと一緒に働きませんか。

募集人員：常勤 1名 又は 非常勤 若干名

募集内容：整形外科併設の通所リハビリテーション施設での個別リハビリテーションをお願いします。

給 与：当法人規定により優遇します。

福利厚生：各種社保完備、交通費全額支給
制服貸与。常勤は賞与年2回。

勤務時間：9：00～18：30 週40時間勤務。
非常勤は時間応相談可。

残業ほとんどなし。

休日休暇：木・日休み。GW、夏休み、年末年始休み。年間約117日。

応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参ください。

交 通：横浜市営地下鉄「吉野町駅」「阪東橋駅」
徒歩4分

又は京急「黄金町駅」徒歩5分

ふたば整形外科 デイケアふたば

〒232-0026 神奈川県横浜市南区二葉町 1-1-30

TEL：045-260-0212 FAX：045-260-0213

E-Mail sprs5we9 @ tempo.ocn.ne.jp

担当者 小口



求人

作業療法士募集！

外来・入院・在宅と幅広い分野で患者様に密着したリハビリテーションを提供しています。

ライフワークバランスを大切にしたい職場をめざしています。車通勤も可能です。残業も少なく、仕事が終わってからの迎えもラクラク。

～ 募集要項 ～

施設概要 病院（199床）脳血管リハ（Ⅰ）、
運動器リハ（Ⅰ）、呼吸リハ（Ⅰ）

募集人員 常勤・非常勤とも若干名
（理学療法士も歓迎）

待 遇 当院規定により優遇。経験年数加算あり。
昇給年1回。賞与あり。

勤務時間 8：45～17：15（休憩1時間）

休 日 4週8休、有給休暇、年末年始ほか

その他 学会・研修会出張奨励

スタッフ数 PT7名、OT4名、ST3名、助手1名

応募方法 電話連絡ののち、面接となります。

担当者 リハビリテーション科 菊池

医療法人社団 晃進会 たま日吉台病院

〒215 - 0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 1105

電話 044 - 955 - 8220（代）

URL <http://www.tamahiyo.or.jp>

Eメール info@tamahiyo.or.jp



求人

作業療法士募集

施設名 社会福祉法人 聖隷福祉事業団
せいれい訪問看護ステーション横須賀

施設概要 機能強化加算型の訪問看護ステーションです。

研修等も充実しています。

募集職種 訪問リハビリテーション

人員 若干名

待遇 正職員・パート職員

給与は当法人規定による。

社会保険完備・通勤交通費別途支給

住居・退職金・扶養手当（寡婦）は

正職員のみ

勤務内容 正職員：週5日

パート：週5日のうち希望により応相談

時間 8：30～17：00（1時間の休憩含む）7.5時間

休日 土・日・祝・年末年始12/27～1/3

応募方法 随時電話連絡の上、履歴書送付

勤務地 横須賀市武3丁目39-1

せいれい訪問看護ステーション横須賀

担当 久保田・星野

連絡先 TEL：046-857-8840

※お電話お待ちしております！



求人

**TR 相模大野リハビリセンター
作業療法士募集！！**

募集人員：若干名

時給：2500円

時間：勤務パターン選べます。

A：10：00～16：00（休憩1時間）・週1日～

B：9：30～12：00・週1日～

C：13：00～16：30・週1日～

休日・休暇：週1日～OK

曜日・時間・勤務開始日応相談・WワークOK

待遇・福利厚生：交通費35000円まで支給

研修会・学会参加：研修会参加費用支援あり

施設概要：デイサービス

業務内容：個別のリハビリメニューの作成、指導、
実施

住所：神奈川県相模原市南区若松 6-10-11

Tel：042-815-2221 Fax:042-815-2223

Mail：trsagami@yahoo.co.jp

アクセス：相模大野駅からバスで上原団地下車。

徒歩5分程度

応募方法：電話かメール。気軽にお問合せください。

第15回神奈川県作業療法学会のご案内

第15回神奈川県作業療法学会 事務局長 秋本 浩

第15回神奈川県作業療法学会開催まで、いよいよ1か月余りとなりました。

テーマは「原点回帰」～作業療法の面白さを知ろう・伝えよう～です。今回、特別講演において作業療法の発展に尽力されました矢谷令子先生と長谷川元先生に体験から得た作業療法の面白さや逆に大変だったことなどをお話いただき、集まっていただきました皆様と共に将来の作業療法について考える機会になればと思います。

現在、医学系はIPS細胞の発見により回復不可能と思われていた疾患の治療や薬の開発が目覚ましい発展を遂げています。また、医療で補いきれない患者様の生活の部分を各企業がロボット工学を駆使し、より良い生活が送れるよう工学系も日々進歩を続けています。これからの作業療法は、時代の流れを見ながら、古き良いものを見つめなおし、また新しい流れを取り入れながら、より良い方法について考えていかなければならない大切な時期であると思います。シンポジウムでは身体・精神・発達各分野の最

新の報告がされると共に、口述発表においても臨床現場における最新治療や問題点の提議などがされることでしょう。ランチョンセミナーではロボットスーツを応用した手指機能回復のためのパワーアシストハンドについてお話しいたできます。今回の学会を通して、今後の作業療法の進む方向が明確になり、同時に一人一人の若い作業療法士の方々の指針となれば幸いです。

また、県民公開講座において「脳卒中・認知症から脳を守る」、「認知症になりにくい人になる、認知症を生みにくい街にする」など、今後の日本の老人医療について講師の先生方にお話を頂きます。知人や近所の方々にお声かけ宜しくお願い致します。

最後になりましたが、お子様を同伴する参加者のために、保育士常駐の託児室を設置します。託児スペースの都合上、定員がありますので先着順とさせていただきます。詳細につきましてはHPでご確認お願い致します。それでは多くの皆様のご参加をお待ちしております。

編集後記

ハクシオン！ついに恐怖の花粉到来です。私の春は憂鬱です。でも神奈川県士会の春は巻頭言のとおり選挙です。職能団体としての未来を作る希望の区切りです。サイトと共にニュースでも皆様にお伝えして参りますので、その動向をしっかりと受け取って頂けたらと思います。ハクシオン！（びぐめい）

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース**

<172号>2015年3月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊愼一

編集責任者 出口弦舞

編集担当 小峰一宏（イムス横浜狩場脳神経外科病院）
山岡洸 / 岩瀬このみ / 桜井大和（佐藤病院）

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号 TEL/FAX: 045-663-5997
月火水木金 10:00～16:00 メールアドレス: jimmu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索

Facebook <https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter <https://twitter.com/kaotwebkan>



kana-ot.jp